

# DC NEWS

損保ジャパンDC証券

No. 51

\*DCは、Defined Contribution (確定拠出年金) の略です。

発行：損保ジャパンDC証券

## 【企業導入事例紹介シリーズ(第3回)～北日本石油株式会社～】

DCニュースでは、当社に指名いただいた企業の確定拠出年金制度導入の事例を、企業担当者のインタビューをもとに順次ご紹介しております。今回は、北日本石油株式会社情報管理部部長の佐藤秀行氏、同部経理グループグループ長の山田利雄氏、同部総務グループグループ長の伊藤廣氏に同社の導入事例をお伺いしました。

### ■プロフィール(2005年4月現在)

北日本石油株式会社(www.kitanihon-oil.co.jp)

- 資本金:9,000万円
- 設立:1959年9月
- 従業員数:837人(2005年4月現在)
- 所在地:〒103-0014 東京都中央区日本橋  
蛸殻町1-28-5 蛸殻町Fビルディング
- 業務内容:主に石油製品、石油副製品の販売を行っている。



北日本石油(株)  
情報管理部 部長 佐藤秀行氏(中央)  
情報管理部経理グループ グループ長 山田利雄氏(左)  
情報管理部総務グループ グループ長 伊藤廣氏(右)

### 制度導入の経緯についてお聞かせください

確定拠出年金(以下「DC」)制度のスタートは2005年7月になります。以前の退職金制度は適格退職年金と退職一時金制度で構成されていました。しかし、時価会計を意識したとき、退職給付債務の問題が財務に与える影響が大きいと判断して2004年の夏ごろからDCの検討を始めました。

検討を開始し制度の方向性が固まったところで、全社員に対して制度説明会(10～20名規模)を行いました。この説明会では、会社の適年のしくみをはじめ、退職給付債務、会計・税制の変更などについて説明を行い、改正が収支に与える影響などDCを導入する意義を話しました。2005年2月から4月までの間に20ヶ所、合計61回実施しましたが、全社員に同じように説明を行うべきだと考え、地域を分担せずに私たち3人がセットで説明を行いました。損保ジャパンの担当の方にも毎回同行していただきました。冬の寒さの厳しい時期で飛行機が欠航したり、3人で1人を相手に2時間説明したりと、いろいろ苦労もありました。

DC導入決定後には、2005年の5月中旬から6月末にかけて合計62回の投資教育セミナーを行いました。当社の業務は為替や原油価格に大きく影響するため、リスクをわかっている人も多いのですが、資産運用の説明には気を使いました。損保ジャパンの専任講師の方には前回の制度説明会で出た質問を取り入れていただくなど、柔軟にわかりやすく説明いただき助かりました。

### 運営管理機関の選定についてお聞かせください

実は、運営管理機関を選定する際には、他にも候補があり悩みました。最終的には、本社にいる約30人の社員に社名を

伏せて内容を検討してもらい、損保ジャパンDC証券に決定しました。ほとんどの社員が、フルバンドルサービスによる使い勝手のよさを評価していました。選定後は、規約の策定から投資教育のサポートまで、ご担当の方には誠心誠意取り組んでいただき本当に感謝しています。

**制度導入後の運用状況についてお聞かせください**

DC制度は2005年7月にスタートしましたが、驚いたことに社員全体の運用状況は預金や保険などの元本確保型の商品が3割、投資信託が7割という結果でした。リスク資産の割合が高くなっていました。その内訳も国内株式・債券、外国株式・債券にバランスよく投資されているようです。これが投資教育の効果だとすると、全支店をくまなく回った成果だと思えます。

実際、従業員から運用の話が出るのを聞くと教育の手応えを感じます。ただし、株価の変動を見て一喜一憂するのでは困ります。年金は長期の運用ですので、それができるような投資教育が必要だと感じています。今後も運営管理機関の力を借りながら、毎年一回は、継続的な投資教育を行っていきたいと思います。常に直接従業員と向き合い、より良い制度にしていきたいと思えます。

(おわり)

**【情報セキュリティ管理体制に関する認証 (ISMSおよびBS7799) 取得のお知らせ  
～業界初、運用関連業務・記録関連業務の同時認証取得～】**

当社は、今般、情報セキュリティ管理体制に関する認証である「ISMS認証基準 (Ver.2.0)」および「BS7799-2:2002」を取得いたしました。

個人情報保護法の完全施行をはじめ、情報セキュリティに対する社会的な意識はますます高まりを見せています。とりわけ当社は、確定拠出年金 (以下「DC」) 運営管理業務における、記録関連業務から運用関連業務まで自社で完結するバンドルサービスをご提供しており、お客様である加入者様、事業主様等の情報についての管理は極めて重要であると認識しています。

こうした認識のもと、当社は昨年より認証取得活動を開始し、今般、DC業界としては初の運用関連運営管理業務および記録関連運営管理業務についての同時認証取得を果たしました。これにより、当社は情報セキュリティ面においても運営管理機関として適切な管理体制が確立されていることが証明されるとともに、名実ともに高水準のバンドルサービス提供会社となることができました。

当社では、今後とも情報全般、特に個人情報のセキュリティレベルの維持・向上に努め、お客様のご期待に沿ったDCサービスの提供を続けて参ります。

なお、当社では引き続き、個人情報保護に関する事業者認定制度である「プライバシーマーク」の取得に向け、全社を挙げて取り組んで参ります。

認証登録概要	
事業者名	損保ジャパンDC証券株式会社
事業所	〒163-0650 東京都新宿区西新宿1-25-1新宿センタービル50F
登録範囲	確定拠出年金制度の運用関連運営管理機関業務、記録関連運営管理機関業務
認証規格	ISMS認証基準 (Ver.2.0) BS7799-2 : 2002
認証番号	IJ 02024 (JIPDEC) IS 500984 (UKAS)
登録日	2006年3月15日
審査登録機関	ビーエスアイジャパン株式会社
認定機関	財団法人 日本情報処理開発協会 (JIPDEC) United Kingdom Accreditation Service (UKAS英国認定機関)



(おわり)